

真・魅力通信

保こ幼小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

保こ幼小中一貫の「真化」を目指して

本年度は、袋井あやぐも学園の「魅力ある保こ幼小中一貫校づくり」の3年目です。昨年度までの取組を振り返り、新たな仕掛けを考えたり、幼児・児童・生徒の実態に合った仕掛けに改善したりするなど、取組を真化させる一年です。

袋井あやぐも学園の幼児・児童・生徒の成長を確かなものにするために

- 学園教育目標:「夢を追い続ける子供の育成」
- 学園経営目標:「幼小中一貫カリキュラムにより自主(Iの力)と協同(We の力)を育成する学園」
- 共有する子ども観:「自己有用感」「主体性」を高める
- 共有する方法:「聞く指導」「ボイスシャワー」

袋井あやぐも学園の全教職員が幼小中一貫カリキュラムを理解し、一貫研を通してつながり、一丸となって全ての幼児・児童・生徒の自己有用感と主体性を伸ばす、真の1年にしていきたいと思います。



※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「デジタル職員室→掲示板→袋井中校区」を御覧ください。

袋井あやぐも学園

令和4年度グランドデザイン

「あやぐも(彩雲)」

彩雲とは、太陽の近くの雲が虹色になる自然現象ですが、稀にしか見ることができないことから幸運がくる前兆とされています。袋井中校区幼小中一貫教育により子供たちの未来が輝かしいものになってほしいという願いを込めています。

袋井中・袋井東小・袋井西小・袋井北小・袋井東幼・袋井西幼・田原幼・若葉こ・若草こ

(連携校) 今井小(主な連携園) 明第二保・めいゆ可睡保・袋井あそび保・たんぼほ第二保・どんぐり保・MOE 保育園てんじん園

袋井市の教育が目指す子供の姿

夢を抱き、たくましく次の一歩を踏み出す 15 歳

学園のめざす子供像

- 自主(自立力) 学習や生活、諸活動のそれぞれに目標を立てて、実現に向かう努力を怠らず、自分を鍛え続ける姿
- 協同(社会力) 集団の一員として自分の役割を自覚し、人のために一生懸命汗を流す姿

学園教育目標 「夢を追い続ける子供の育成」

PDCAで カリキュラムを動かす

目標：子供の意識調査(小6/中3)

「あてはまる」の割合

「学校が楽しい」(70/65)

「みんなで何かをするのは楽しい」(75/73)

「授業に主体的に取り組んでいる」(55/53)

「授業がよく分かる」(55/40)

学園全体をつなぐ

- ・学園カリキュラムで目指す姿を共有する。
- ・一貫研と組織(カリキュラム検討委員会・拡大推進委員会)で教職員をつなぐ。
- ・子供理解(振り返り個票、個別的教育支援計画・指導計画等)により指導をつなぐ。
- ・一貫研・学園(学校)運営協議会で学校と地域をつなぐ。はごろも夢講演会で子供観を共有する

主体性
自己有用感

幼小中一貫カリキュラム

生き方部

「働く喜び」を感じ、「住みよいまち」を創造していこうという意欲を持ち、「なりたい自分に向かって歩む子供」を育成する。

授業づくり部

主体的に考えたり、次の学びを求めたりする子の育成

特別支援部

誰もが十分に力を発揮できる教育環境を目指し、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を活用することで、児童生徒の自立力・社会力を育てる。

体づくり部

「体を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、良好な人間関係を築く力や目標に向けて努力し続ける力を育てる。

学びづくり部

授業の中で「話す」「聞く」を大切にするとともに、家庭学習を工夫することにより、主体的に学習する態度を養う。

心づくり部

「静をつくる」「温をつくる」という活動を通して、規範意識や思いやりの心を育てる。

6つの

就学前教育カリキュラム・幼小接続カリキュラム

子供一人ひとりにとって「魅力ある園・学校づくり」

～絆づくり・居場所づくり～

「ボイスシャワー」「聞く指導」

安心安全な学校づくり

交通安全指導・事故防止・学園防災会議

教職員の働き方改革

勤務時間を意識した働き方・ICTの活用・部活動ガイドライン